

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 4月 20日

【評価実施概要】

事業所番号	1275800185		
法人名	(有)しあわせの家		
事業所名	グループホーム大綱しあわせの家		
所在地	〒299-3223 千葉県山武郡大綱白里町南横川 3148-20 (電話)0475-73-7076		
評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会		
所在地	〒113-0021 東京都文京区本駒込 3-15-10		
訪問調査日	平成19年3月16日	評価確定日	4月20日

【情報提供票より】 (19年3月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 9 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤 2 人, 非常勤 10 人, 常勤換算	4.5 人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000~70,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円	
敷金	有(300,000 円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(11ヶ月/30万円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,333 円			

(4) 利用者の概要 (月 日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名
要介護 1	3 名	要介護 2	1 名		
要介護 3	4 名	要介護 4	1 名		
要介護 5		要支援 2			
年齢	平均 84 歳	最低 66 歳	最高 92 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	齊藤クリニック 高井歯科病院 駒込クリニック
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

・経営者が同じですので、東金・九十九里ホームと人材・ノウハウの共有が可能となっています。
 ・地域活動に積極的に参加して、地域に密着するよう心がけております。
 ・運営管理では、TQC手法を活用し、ケアサービスでは人間力を駆使し家庭に居るそのままの状態ですら暮らせるよう努力されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	評価の意義を理解し、良く改善に取り組まれているとの前回評価ですが、概ねその通りで、更にTQC手法を取り入れ運営・管理で改善・サービスの向上に努めています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員会議・打合せ等で提示し、一つずつ実行可能なものは、取り組んでいます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、又各種の市町村との定例会にも積極的に参加し、会議で出た課題・情報に取り組んでいます。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の意見を聞くため、アンケートをとり始めており、又運営推進会議では家族有志が参加しているので、ご意見を拝聴し運営に役立てるよう努力されています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	積極的に地域活動に参加しボランティアを受け入れ、消防訓練等では近隣の方々に声をかけよう努力されています。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームを、地域の方に知って頂き、又地域に貢献できるよう努めています。	○	今後、時間をかけ地域の特性を織り込みながら独自の理念を構築されることを望みます。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全員が見やすい場所に掲げ、その内容の実践に努めています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の老人会・地域活動・祭り等に積極的に参加しています。	○	各行事・活動に参加することの継続は勿論、草取り等地域に貢献する更なる活動参加・拡大を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会議・打合せ等で提示し、一つずつ実行可能なものは、取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、その話し合いをサービスの向上に役立てよう努めています。	○	今後は、テーマを決められて話し合いし、実行可能なものから実施・フォローされることを望みます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	大網白里町役場主催のグループホーム定例会に参加し又居宅介護支援センター杜の街と連携しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回、家族へ手紙で近況報告しています。又、金銭は預からないで、実費を家族へ領収書添付の上請求するようにしています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見を受け止め、同じ事を繰り返さないように努めています。更に、3月に家族にアンケートを送付し、意見反映させるよう準備しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者を見捨てないで事前に伝え、利用者のダメージを極力抑えるようにしています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホームは研修費の会社負担・人員の融通をし、外部研修の参加を促しており、又ホーム内での勉強会・課題の配布等でのレポート提出による職員間の学び・情報交換しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	エリアネット等で、同業者との交流を通じ、問題解決・サービスの向上に努めています。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	特定の主菜用食器、湯飲み、箸などの個別使用に心掛けるなど家庭的雰囲気に配慮が見られます。年齢を考慮した職員配置など場の雰囲気に馴染みやすい配慮があります。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員が励まされる関係にあり、また利用者の役割を考慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で出来ることを助け合い、支え合う関係を築いています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人と家族・介護計画作成者・職員の合意で計画が作成されています。本人の意向が反映されるサポートを続け、細かな対応がなされるよう努力されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的・随時的介護計画の見直しがなされています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望に応じて細かな対応がなされています。結婚式など個人的希望にも即して柔軟に対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、歯科／口腔外科、精神科、整形外科、眼科など複数の医療機関との連携も良く、定期的往診・受診が可能で利用者の健康への不安の解消になっています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者・家族の意向を踏まえた終末期医療のあり方を検討し、希望に添った対応が出来るよう準備が始まっています。	○	医師・看護師の指導のもと、利用者・家族共々納得のいく終末期医療・介護が行われるよう書類その他の整備を急ぎ、対応できるよう希望します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報管理の徹底と、接遇の職員教育による利用者の満足を得る対応をされています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位の自己決定がなされるよう希望します。ゆっくりとした時間の流れで運営され、静かな環境を用意されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、入居者の希望を聞いた上でなされ、多彩な食料素材を用いた副菜や陶器利用の配膳など、食生活を軽視しない配慮がありました。盛りつけ、彩り、味の追求が見られます。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者に合わせた入浴(週2回)が出来るよう配慮され時間などを工夫されています。入浴は日にちと時間が決められ特別に必要なシャワーや足浴などで対応されています。	○	入浴回数の再考や浴室の段差の工夫、入浴用品とトイレ用バケツの混在など清潔・不潔の区別を付け感染予防に努められることを希望します。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事や掃除、大工仕事など利用者の活躍の場を生活歴を考慮して対応され、個々に見合った役割と楽しみを提供されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日中の計画に散歩が企画され、近所への散歩外出が日課となっています。家族との外出外泊も自由に許可されています。又、ADLに合わせた定期の夕食・ドライブなど配慮されています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の扉を開けるとチャイムが鳴るよう工夫され、鍵の解放がなされています。同時に外出の機会を多く持ち、閉鎖的恐怖感がでないようにされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署と連携し、消防訓練を実施し、又避難経路及び対応手順・連絡先を掲示しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事後の残量確認と記録で、各個人の水分や栄養状態の把握をされています。そのことにより看護師の短時間の勤務体制であっても体調の変化の予兆を知らしめ、前もって対応指示されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、玄関先にはプランターに花を植え、利用者に管理して頂いています。又、利用者が、自由に音楽を奏でることができるようになっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた物や、気に入った絵・書物等を飾ったり置いたりして本人が居心地よく過ごせるようになっています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。